

カメラ不要・工事不要。離床・転倒・徘徊を1台で検知する 介護施設向け見守りセンサー「RTH-25」を提供開始

夜間巡回の負担軽減を支援。ベッド下に設置した非接触LiDARで入居者の動きを検知し、モニターとチャイムでスタッフへ通知



離床・転倒・徘徊センサーをベッド下のLiDARで見守りリアルタイムで通知

株式会社エフエージェイ（本社：神奈川県横浜市旭区、代表取締役：美藤 均）は、介護施設向け「離床・転倒・徘徊 見守りセンサー RTH-25」の提供を開始しました。

RTH-25は、介護施設の居室にあるベッドの下に設置し、非接触LiDARによって入居者の動きを検知する見守りセンサーです。

「離床」だけでなく、「転倒」「徘徊」まで検知。検知した情報は長距離無線通信「LoRa」でセンター装置へ送信され、液晶モニターへの表示とチャイムによって介護スタッフへ知らせます。

カメラを使用せず、Wi-Fiも不要。大がかりな工事を必要としないため、既存の介護施設にも導入しやすく、必要な居室から段階的に導入できます。

介護現場の「夜間の見守り負担」に

介護施設では、夜間も入居者の安全を確認するため、スタッフが定期的に居室を巡回しています。

しかし、

「夜間の巡回回数が多く、スタッフの負担になっている」

「離床した後の転倒が心配」

「徘徊・離室への対応を強化したい」

「居室にカメラを設置することには抵抗がある」

「リアルタイムで監視したい」

といった課題があります。

エフエージェイは、こうした介護現場の課題に対して、必要な機能をできるだけシンプルにした見守りセンサー「RTH-25」を開発しました。

「離床」だけでなく「転倒」「徘徊」まで検知

一般的な離床センサーでは、ベッドから離れたことを知らせることが主な目的となります。

RTH-25では、LiDARによって居室内の人の動きを測定し、

- ・離床：ベッドから離れたことを検知
- ・転倒：転倒・座り込みなどを検知
- ・徘徊：居室から出たことを検知
- ・介護者の入室：スタッフなどの入室を判別

といった状態を検知します。

離床・転倒・徘徊を3つの機能で見守ります

センサーはベッドの下に設置します

1 座り込んだり寝転ぶと**転倒**と判定します。



2 床に足を着くと**離床**と判定します。



3 介護者は自動で除外します。



4 部屋から出れば**徘徊**と判定します。



高精度な検知で早期対応が可能

誤検知を減らす安心の設計

工事不要で簡単設置

入居者の安心と介護スタッフの負担軽減をサポートします

被介護者の離床・転倒・徘徊を検知しますが、介護者は自動で除外します。

ベッドから離れた」という情報だけでなく、その後に起きた可能性のある状態も把握することで、介護スタッフが必要な場所へ早期に対応するための情報を提供します。

カメラを使わないから、入居者のプライバシーに配慮

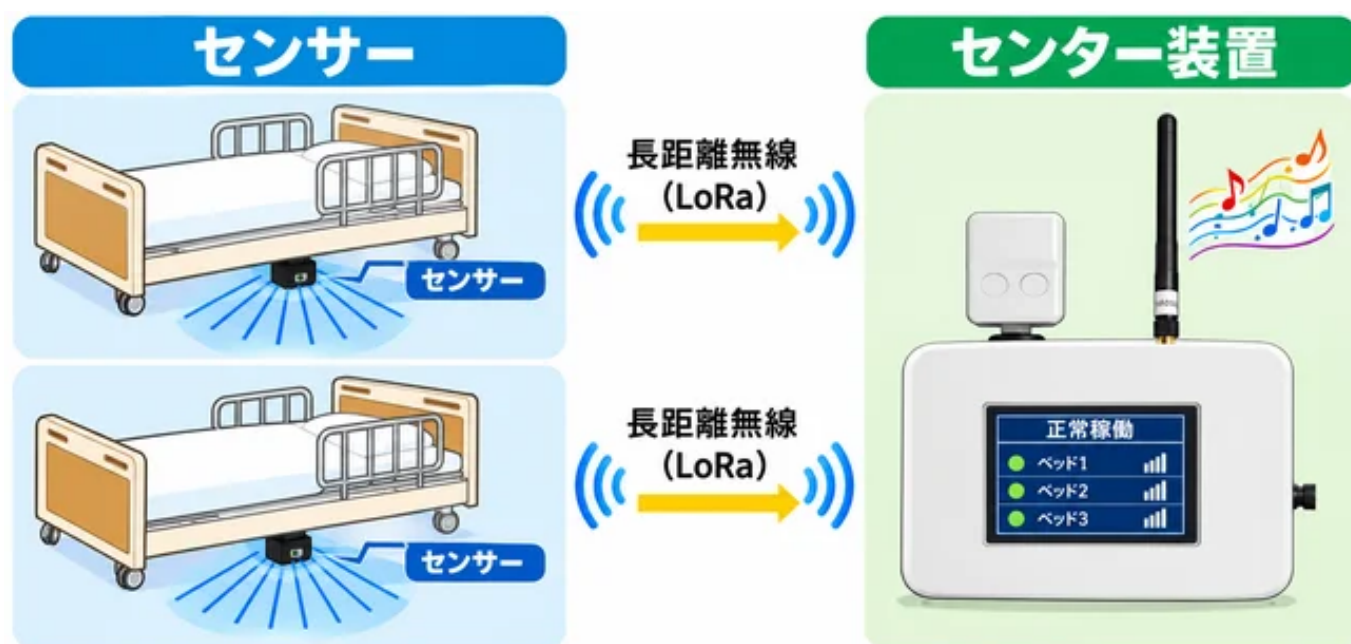
RTH-25はカメラによる映像撮影を行わず、LiDARによる距離情報を利用して人の動きを検知します。居室を映像として撮影するカメラ型の見守り機器とは異なる方式のため、「居室を常に撮影されることへの抵抗感」に配慮した見守り環境を構築できます。入居者の安全を見守りながら、プライバシーや尊厳にも配慮したい介護施設に適した方式です。

ベッドの下に設置。大がかりな工事は不要

センサーはベッド下に設置します。

壁面への固定や天井への設置など、大がかりな工事を必要としません。

また、通信には長距離無線通信「LoRa」を使用するため、センサーとセンター装置をWi-Fiで接続する必要がありません。



1台のセンター装置でセンサーを最大40台まで監視できます。

居室の変更や施設内の運用変更にも、センサーを移動して対応できます。

モニターとチャイムでスタッフへ通知

センサーが検知した情報はLoRa通信によってセンター装置へ送信されます。

センター装置の液晶モニターに検知内容を表示するとともに、チャイムでスタッフへ通知します。

スマートフォンやタブレットを常に操作する必要がないため、複雑なアプリ操作をできるだけ減らしたシンプルな運用を目指しています。

1台のセンター装置で最大40台を管理

1台のセンター装置で最大40台のセンサーを管理できます。

例えば、

1階：10台

2階：15台

3階：15台

というように、複数の居室・複数フロアに設置したセンサーを一元管理できます。

また、施設全体へ一度に導入するのではなく、

「まずは転倒リスクの高い入居者の居室から」

「まずは夜間巡回の負担が大きいフロアから」

というように、必要な場所から段階的に導入することもできます。

介護スタッフの「見に行く」を「必要なときに行く」へ

夜間の介護では、すべての居室を同じ頻度で確認することがスタッフの負担につながる場合があります。

RTH-25は、介護スタッフによる見守りそのものを置き換えるものではありません。

センサーによって「何か起きている可能性がある場所」を知らせることで、スタッフが必要な場所へ優先的に対応できる環境づくりを支援します。

エフエージェイは、見守り機器によって介護そのものを置き換えるのではなく、

「介護スタッフが本当に必要なところへ、より早く対応できる環境をつくる」

ことを目指しています。

このような介護施設におすすめです

- ・夜間の巡回・見守り業務の負担を軽減したい
- ・離床後の転倒への対応を強化したい
- ・徘徊・離室への対応を強化したい
- ・居室へのカメラ設置に抵抗がある
- ・新たなWi-Fi環境を構築せずに導入したい
- ・大がかりな工事をせずに見守り機器を導入したい
- ・スマートフォンやタブレットに依存しないシステムを導入したい

- ・複数の居室を1台のモニターで管理したい
- ・必要な居室から段階的に導入したい

製品概要

製品名：離床・転倒・徘徊 見守りセンサー

型式：RTH-25

検知方式：非接触LiDAR方式

検知内容：離床・転倒・徘徊・介護者の入室

通信方式：LoRa（長距離無線通信）

Wi-Fi：不使用

管理台数：センター装置1台につきセンサー最大40台

設置方法：ベッド下

カメラ：不使用

TAISコード：02363-000003

取得特許：特許第7186327号（人体形状判定方法）

価格（税抜）：センサー 50,000円／台、センター装置 50,000円

介護施設様からのご相談を受け付けています

「夜間の巡回負担を減らしたい」

「離床だけでなく、転倒や徘徊も検知したい」

「居室にカメラを設置せずに見守りたい」

「まずは1室から試してみたい」

このような課題をお持ちの介護施設様に、RTH-25をご提案しています。

設置場所や施設内での運用方法についてもご相談いただけます。

製品の詳しい仕様、導入相談、デモについては、下記の製品ページまたはお電話よりお気軽にお問い合わせください。

製品ページ

<https://fajpn.com/tentou/>

株式会社エフエージェイ

〒241-0826

神奈川県横浜市旭区東希望が丘7-25

TEL：045-532-5581

株式会社エフエージェイについて

株式会社エフエージェイは、介護現場の課題を技術によって解決することを目指し、介護向けの見守り・排泄検知システムなどの開発・提供を行っています。

「必要な機能を、必要な場所へ、シンプルに。」

この考えを基本に、複雑な操作や大がかりな設備工事をできるだけ減らし、介護スタッフと入居者の双方にとって負担の少ない介護環境の実現を目指しています。

株式会社エフエージェイのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/168002

(例)

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社エフエージェイ

広報担当：美藤

電話：045-532-5581

メールアドレス：contact@fajpn.com